

第10回免疫学セミナー

日時: 1月13日(水曜日) 18:00~19:30

場所: 基礎研究棟1F 大学院セミナー室

講演者: 城口 克之 先生

理化学研究所 統合生命医科学研究センター
オミクスラボ・ラボリーダー

タイトル: デジタルRNAシーケンシング法の
開発と少数の免疫細胞解析への応用

講演要旨

次世代シーケンサが登場し、定性的な分析装置であったシーケンサが、定量的な分析装置へと変革を遂げている。網羅的にRNAのコピー数を定量するRNAシーケンシングは、その代表的な例である。我々は、独自に開発した分子バーコーディング法を用い、**より正確で、より安く、より高いダイナミックレンジをもつデジタルRNAシーケンシング法**を開発してきた。高感度化により、少数細胞(<100)からの解析も実現しており、解析を含めたプラットフォームを構築することにより、共同研究も開始している。

本セミナーでは、まずデジタルRNAシーケンシングの原理と開発について説明する。その後応用例として、これまでプライマリ細胞での測定が難しかったT細胞の分化過程の遺伝子発現解析など、共同研究を含めた様々な免疫関連細胞の解析について紹介する。

私は生物物理屋ですが、異分野交流の場となれば幸いです。



RCAI × CGM

統合生命医科学研究センターIMSは、
免疫・アレルギー科学総合研究センターRCAIと、
ゲノム医科学研究センターCGMの統合によって、
新しく発足した研究組織です。

Host: 免疫学分野 (ext.7192)